

事務事業名 追悼式事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：245

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030106-01-193
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標			担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
戦没者遺族			市主催の戦没者追悼式を行う。戦没者を慰霊するとともに、戦争の記憶を風化させることなく、平和と命の大切さ、戦争の悲惨さを次の世代に語り継ぎ、二度と戦争を起こさない平和活動の啓発を行う。 追悼式は、祭壇、献花台の設置等の委託契約事務、筑紫野市遺族会、来賓などに案内状の送付などの事務を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
戦没者の遺族の心中を察し、追悼式を行うとともに、平和と命の大切さ、戦争の悲惨さを次の世代に語り継ぎ、二度と戦争を起こさない誓いをたてる。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
遺族出席者		人	43	68	140	70			140
遺族者会の会員数		人	302	276	302	233			470
5. コスト									
事業費		計	千円	496	601	717	905		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	18	18	18		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	10	10	10	10		
一般	千円	486	573	689	877				
正職員人工数		人工	0.15	0.18	0.18	0.2			
正職員人件費		千円	1,159	1,407	1,444				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,655	2,008	2,161	905			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和5年度は、4年ぶりに通常開催とした。追悼式への遺族出席者数はコロナ前と比較して参加者が減少している。また、遺族者会の会員数については、会員の高齢化のため減少している。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	減少	類似事業	なし	遺族の高齢化が進んでいる。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
この事業がいつから開始されたかは不明であるが、過去は春に遺族会主催で、秋に市主催の慰霊祭が開催されていた。遺族会主催での慰霊祭の開催が困難となり、秋の市主催の追悼式のみとなった。				備考・特記事項 or 進行管理欄					